

# 動労千葉

85. 8. 27  
No. 2023

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

国鉄千葉動力車労働組合

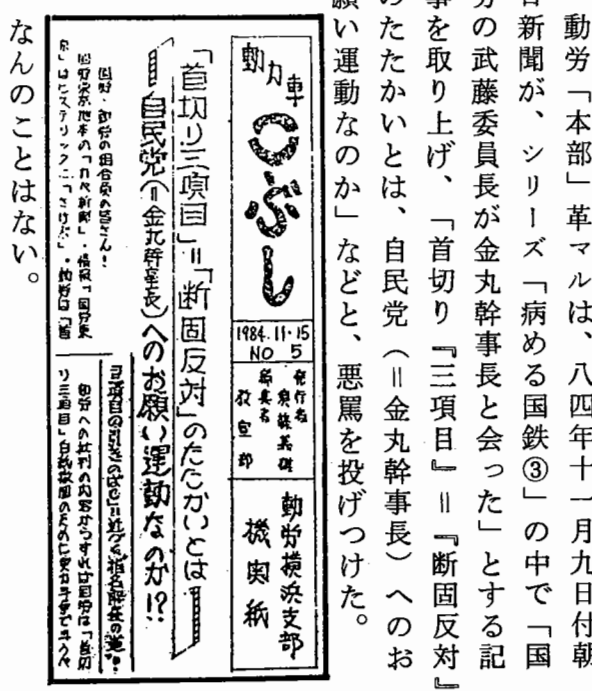
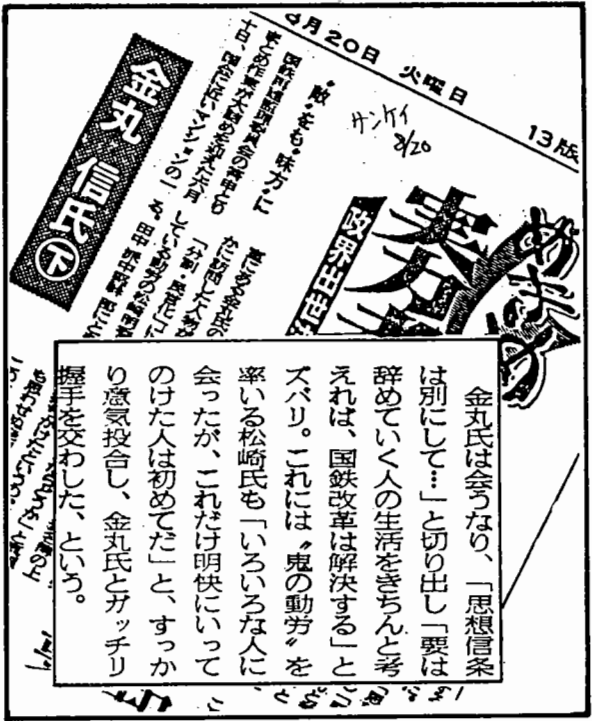
## 「民営分割」大量首切り大賛成。ガツチリ手を組もう、…… 金丸幹事長 秦野 元警視 総監らに忠誠を誓う裏切り者を許すな

七月二十六日、監理委は「分割・民営化」と十万人の首切り「答申」を打ち出したが、「骨身を削って働こう」「三本柱をクリアしよう」をもって当局に全面協力を誓い、さらには自民党幹事長・金丸らに頭を下げ「動労組合員の雇用だけは守って下さい」と哀願してまわる、動労「本部」革マルの反動的姿が次々と暴露されている。労働者を売り渡す動労「本部」革マルを許すな。

金丸幹事長に敬服した革マル・松崎

監理委「答申」は「長期債務の処理」のための財源問題、十万人にもものぼる「余剰人員問題」をはじめ多くの矛盾点、問題点をかかえる一方、自民党、財界内部の利権をめぐる対立の深まり等、国鉄労働運動が総力を結集して闘うならば、勝利の展望は大きく切り拓かれるのだ。

ところが、動労「本部」革マルは自分だけ生き残ろうと、自民党議員にすり寄っている。革マル・松崎は、六月十日に自民党幹事長・金丸信と会った。八月二十日付サンケイ新聞のシリーズ「めきめき実力者・金丸信」は、この時の模様を次のように記している。



さらに、「週刊宝石」（七月二十六日号）では、「自民党議員とも親しいか」と聞かれた松崎は、なんと「秦野章が好き」と答えている。いうまでもなく、秦野は七〇年安保・沖繩闘争当時の警視総監であり、労働者、学生の闘いを弾圧するために暴虐の限りを尽くしてきた張本人である。松崎は、この憎みあまりある秦野と「親密な関係にある」と公言してはばからないのだ。このように、革マル・松崎と自民党、権力とのゆ着は公然たる事実であり、松崎は金丸や秦野らにすり寄り、労働者・人民の「裏切り者」革マル松崎弾劾」から身を守ってもらうかわりに、国鉄労働者を当局に売り渡そうとしている。

中曾根の先兵 革マル・松崎

動労「本部」革マルは、八四年十一月九日付朝日新聞が、シリーズ「病める国鉄③」の中で「国労の武藤委員長が金丸幹事長と会った」とする記事を取り上げ、「首切り三項目」「断固反対」のたごっこは、自民党（金丸幹事長）へのお願運動なのか」などと、悪罵を投げつけた。

革マル・松崎こそが自民党に尻尾をふって近よ

革マル・松崎は、「十万人首切り」を平然とい

秦野（元警視総監）との

親密な関係を公言

り、金丸に「あれ（松崎）はなかなかいい男だ。うちの参院比例代表名簿の上位にもってきたらどうか」（八月二十日付サンケイ新聞）などといわれるまでにとりこまれてしまっているのだ。ファシストとしての面目躍如といったところである。われわれは、国鉄労働運動解体を目論む中曾根の先兵となって国鉄労働者に襲いかかる動労「本部」革マルの追放・一掃を、いまこそかちとらなければならない。

今、動労取場に何が起っているのか? No. 2

# 自民党にすりつき 10万人の仲間の首を売る 革マル松崎

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!